

「杜の都から世界を照らしたい～宮城県とタイの架け橋を目指して～ Vol. 3」

みやぎ海外絆大使

JICA 海外協力隊 2023 年度 4 次隊 タイ・日本語教育
横澤 萌佳

サワディーカー。JICA 海外協力隊 2023 年度 4 次隊タイ・日本語教育の横澤萌佳です。私は、タイ東部チャンタブリー県にある、中高一貫校で日本語教師として活動しておりましたが、タイとカンボジア国境地域における軍事衝突の影響により、赴任地が変更となりました。

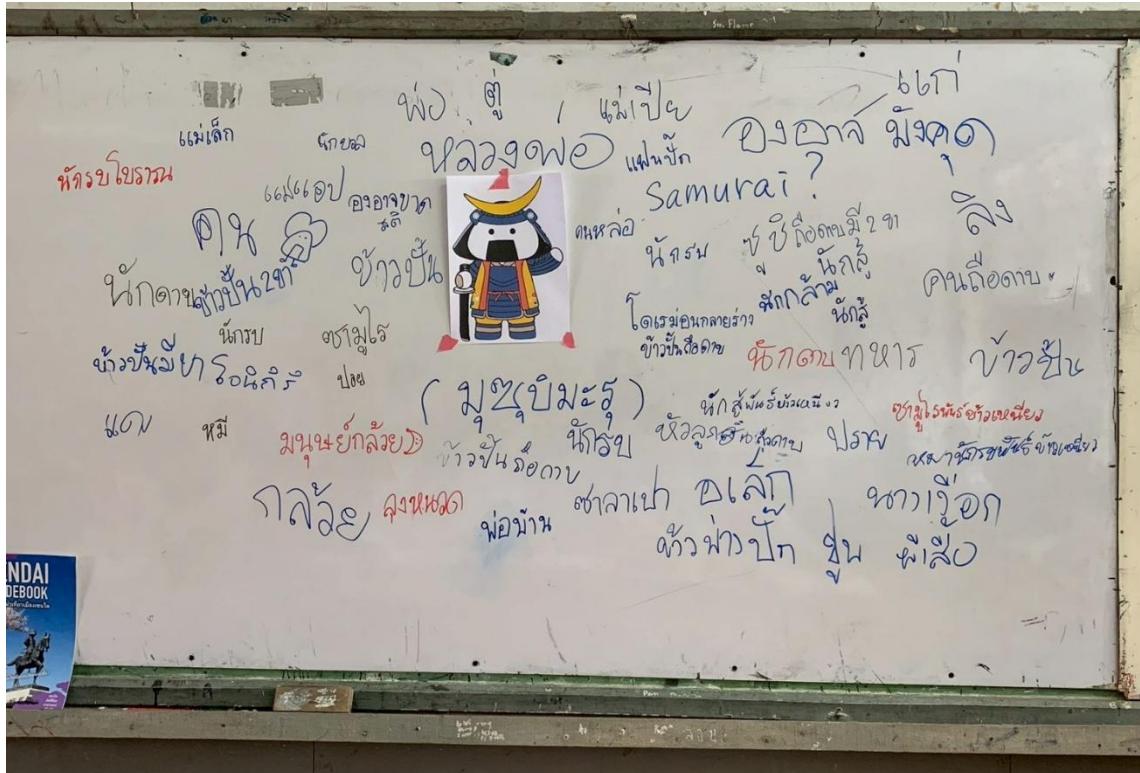
現在は、タイ東北地方のコーンケーン県ナムポーン郡にある中高一貫校で、日本語教師として活動しております。配属先は、バンコクから飛行機で約 1 時間、そこからさらに車で約 1 時間の場所にあります。周辺には舗装されていない土の道があつたり、家の前を牛が歩いていることもある、のどかな地域です。

授業では、教科書の内容を教えることはもちろんですが、日本文化を実際に体験できる授業も大切にしています。

先日、中学 3 年生の授業で仙台・宮城観光 PR キャラクターの「むすびまる」を紹介しました。最初に、日本の東北 6 県を紹介し、「もえか先生は日本の宮城県仙台市から来ました。」と伝え、私の故郷である宮城県仙台市を取り上げました。特に、宮城県を紹介する中で、「むすびまる」の写真を見せ、「“むすびまる”は一体何者？ 職業は？」などといった質問を生徒たちに投げかけ、ホワイトボードに自由に書いてもらいました。「侍？ 寿司？ 頭についているのは。。バナナ？」など純粋な解答が飛び交い、笑いに包まれました。

「むすびまる」が仙台・宮城観光 PR キャラクターであることを説明し、授業のまとめとして折り紙で「むすびまる」を折りました。活動中は、生徒それぞれが、黙々と思い思いに「むすびまる」を作り盛り上りました。普段はシャイな生徒も、この日の授業は積極的に作ったむすび丸を見せに来て、私とコミュニケーションをとろうとしたり、笑顔で取り組んでくれたことが実りでした。

引き続き新天地でも、生徒たちに日本語だけではなく宮城県や仙台を知ってもらうきっかけを提供していきたいと思います。



生徒たちが書いた「むすび丸」の印象



折り紙で作った「むすび丸」と生徒



それぞれの「むすび丸」を手に集合写真